

SWGでのGoogleドライブのWindowsアプリのアップロード失敗のトラブルシューティング

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

はじめに

このドキュメントでは、Secure Web Gateway(SWG)を使用する際にGoogleドライブのWindowsアプリケーションのアップロードが失敗する問題をトラブルシューティングする方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Secure Web Gateway(SGW)およびUmbrella Secure Internet Gateway(SIG)に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

問題

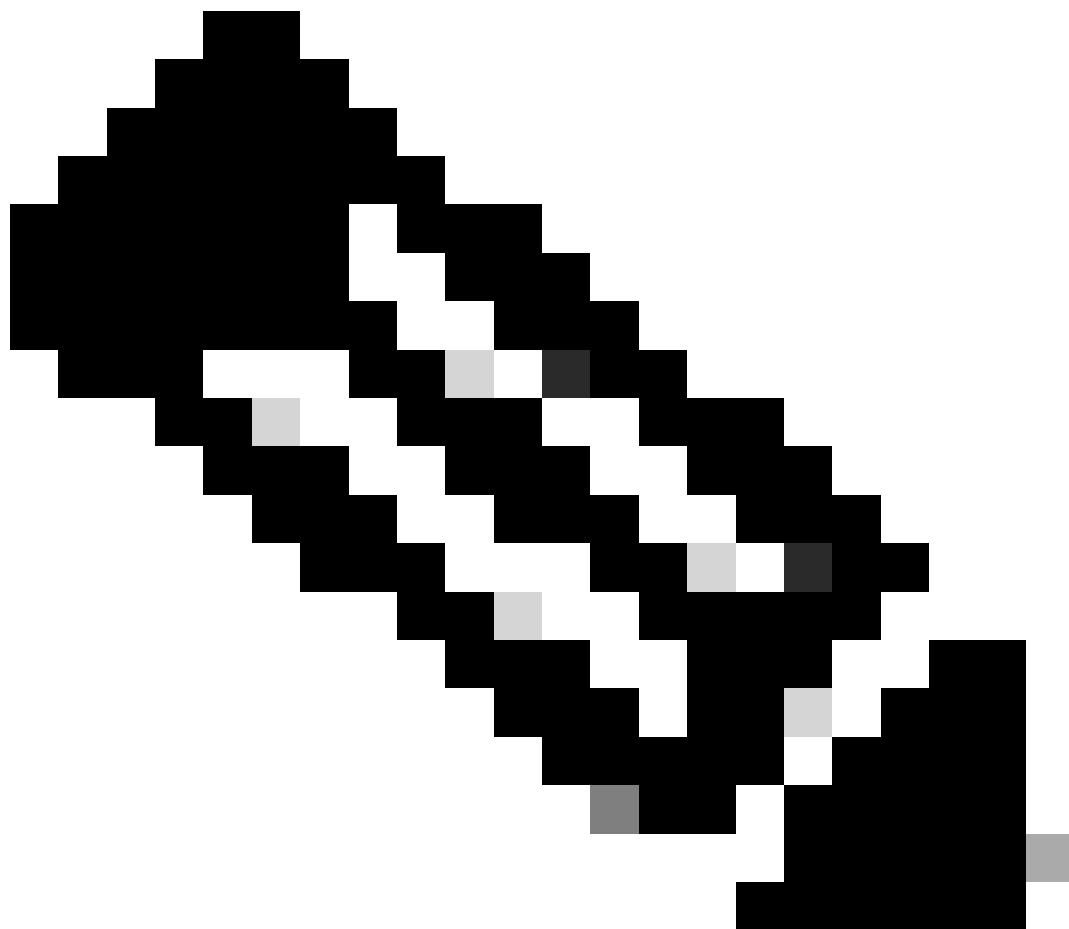
Googleドライブアプリは、傍受に対するセキュリティ対策としてSSL復号化を実行するプロキシでは機能しません。WebポリシーでHTTPSインスペクションを有効にし、Umbrellaルート証明書をすべてのマシンに展開した場合は、Googleドライブアプリを動作させるために追加の手順を実行する必要があります。また、GoogleドライブのWebサイトにログインすると、アップロードが正常に機能する可能性があるため、これはアプリ自体にのみ関連しています。HTTPSインスペクションを無効にすると、アプリは機能できますが、Umbrella関連のセキュリティポスチャが低下

する可能性があります（推奨されません）。

解決方法

SSL復号化が有効な状態でGoogleドライブアプリをSWGで使用するには、次の手順を実行する必要があります。

1. Umbrellaダッシュボードにフル管理ユーザーとしてログインします。
 2. [ポリシー] > [管理] > [Webポリシー] に移動します。
 3. HTTPSインスペクションが有効になっていることが確認できます。
 4. [ポリシー] > [ポリシーコンポーネント] > [選択的復号化リスト] に移動します。
 5. 新規リストの作成または既存リストの編集
 6. Applications Selectedの横で、リストからAdd > Google Driveの順に選択し、Closeを選択します。
 7. 「Domains」の横で「Add」を選択し、これら2つのドメインを追加してから、「Close > Save」を選択します。
 - googleapis.com
 - googledrive.com
 8. Policies > Management > Web Policyの順に戻り、Web Policyを編集します。
 9. HTTPS Inspectionを見つけて、Editを選択します。
 10. 変更した選択的復号化リストを選択し、変更を保存します。
- 変更が同期されるまで数分待ちます。Googleドライブが正常に動作するようになりました。



注:Googleドメインはいつでも変更される可能性があります。アップデートについては、[こちらのGoogleサポート記事](#)を参照してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。